

体験レポート

乳がん検診へ でかけよう



代表の松田です
乳がん検診受けて
まいりました!



ピンクバスプロジェクト
事務局委員長の松本です!

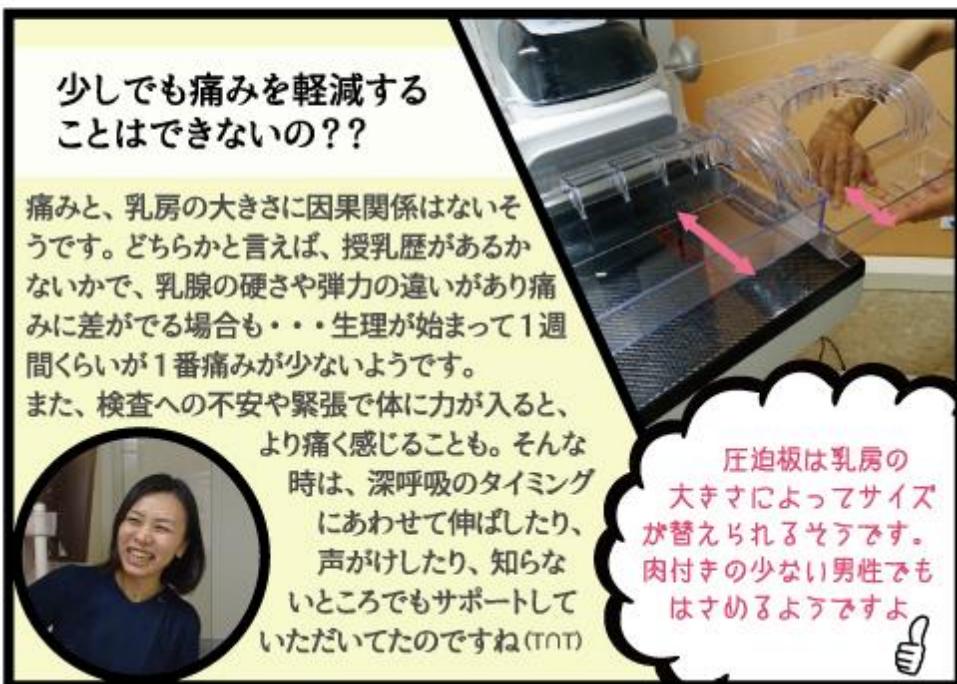
乳がん検診。「何をするの?」「痛いの?」そんな「知らない想像上の不安」が少しでもなくなるよう、今回、わが社の代表が受ける乳がん検診へ同行し、取材をさせていただきました。全容を配信することで、検診未経験のみなさんの不安が、少しでもなりますように・・・

ピンクバスプロジェクト事務局



上半身は下着をつけて
検査着のみ。下はその
ままで大丈夫でした。







③3D マンモグラフィ 検査

乳房を挟んでX線写真を撮影

そして両乳房を上下に撮影した後は、検査装置が横になり、左右を撮影すること計4回。乳腺は乳房だけにあるわけではないので、脇のしたからしっかり挟むのですね...。



はじめてのマジモト
経験した直後の代表。
予想以上の痛みに
びっくりした様子（笑）

「ここからは委員長が体を張つてレポートします

まずは、右胸から上下に挟んで撮影していきます。そして。。。



⑤診察

今回の検査で異常（病変）は
見つかりませんでした。
ひと安心



3D マンモグラフィーは、スライスして撮影するため、2D よりもより詳細な情報が得られるそうです。こちらのクリニックでは、乳腺の多い高濃度乳房や、閉経前の方にはマンモグラフィー + 超音波検診を推奨されます。ただし被曝を考えると2年に1度とし、間に超音波検査を挟むとよいとのことでした。そして、ピーンと張っている胸ほど、乳腺が多い傾向にあり、3D マンモは乳腺の重なりをよけて腫瘍を写すため、より有効であるといわれています。20代の方は超音波検査でよいそうですが、やはり状況や症状によるので相談されるとよいと思います。乳がん検診は、けっして怖いものではありません。ですが、正直、怖いと感じてしまう時はあると思います。そんな中、先生はじめ技師さん、看護師さん達の綿密であたたかいサポートを感じることができ、背中をやさしく押していただいたように感じます。自分を守るための乳がん検診。年を重ねるごとにかけようと思いました。

④超音波検査

仰向けで乳房に機械を当て
病変を探す



胸に温かいジェルをつけ、
その上をプローブで滑らせ
モニターに写します。
手で触れないようなしこり
等も発見できます。

